

主題 「笑顔で明るくがんばろう」  
副題 ～コロナに負けるな～

サークル名 ピッカまん



発表者 介護福祉士 藤井 彩加  
パソコン操作者 支援相談員 神前 政季

社会福祉法人 祐正福祉会

介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ

入所：定員80名（ショート含む） 通所：定員40名

### 《施設紹介》

香川県さぬき市寒川町に平成12年1月10日に開所  
訪問看護ステーション、居宅介護支援センターを併設  
しており、家庭的な環境のもと安全・安心・快適な生活が  
送れるよう支援に努め地域との幅広い交流の中で様々  
な活動を行っています。

### ■サークル紹介

- ・構成人数：13名
- ・施設の「福祉」QC活動年数：15年
- ・現メンバーでの活動歴：1年
- ・平均年齢：37.6歳
- ・活動期間：R3年4月～ R3年11月
- ・会合回数：20回
- ・会合時間：平均45分（業務内外）  
コロナ禍で少人数で開催
- ・平均参加率91%
- ・構成メンバー職種

作業療法士 看護師 介護士 事務員  
介護支援専門員 支援相談員 調理師  
管理栄養士



うどん県 



## ■今回の活動に関する施設長のコメント


ヌーベルさんがわは、平成17年から業務改善の一環として『福祉QC』活動を導入している。昨年からコロナ禍の影響で、中止となっていました。福祉QC全国推進委員会のご尽力により再開となりました。しかし、施設長としては短期間の活動に不安を感じていた。ところが、職員達は、やる気満々でした。レクリエーションの笑顔の点数、長谷川式簡易機能評価スケールのデータも常に継続していたので、問題なく実行できた。また、施設の目標に「できないではなく、どうすればできるのか」を考え業務することを掲げており、今回の活動に繋がっている。施設は感染症について敏感になっているので、県下の感染状況、情報を共有しながら活動した。多職種協働でのチーム編成に加え、新人職員にも仕事のやりがい、自分自身の成長、業務を通じての人材育成にも効果があった。また、家族のご協力を得ながら住み慣れた環境での再会が実現でき、最高の喜びとなった。これからもご利用者様に寄り添い、ご利用者満足、ご家族満足、そして職員満足を高める創意工夫をこれからも心掛けていきたい。

掲載の写真はご家族・ご利用者  
のご了承を得ております



感染症対策を  
行った上で撮影時のみ  
マスクを外し撮影しています





笑顔で明るくがんばろう  
～コロナに負けるな！～

サークル名 ピッカマン



香川県

社会福祉法人 祐正福祉会  
介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ

発表者 介護福祉士 藤井 彩加  
パソコン操作者 支援相談員 神前 政季



# 施設紹介

社会福祉法人 祐正福祉会  
介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ  
平成12年1月10日に開設

## 定員

入所 80名  
(ショートを含む)  
通所 40名

## 併設事業

訪問看護ステーション  
居宅介護支援センター



サークル名

ピッカまん！



看護師

藤井 泰子  
入砂 誠司



管理栄養士

檜原 真帆



HELP!



多職種  
協働

介護士

長野 祐三子  
中井 一富  
北地 千佳子  
藤井 彩加  
多田 輝幸

支援相談員

神前 政季  
小西 康忠



事務員

蓮井 仁美



調理師

川淵 栞



リハビリ

永峰 正規



平均会合時間

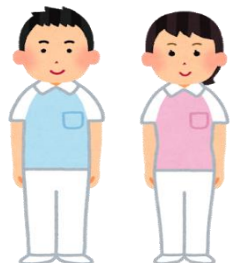
1時間

平均参加率

95%

会合回数

25回



## 課題の抽出

◎…3点  
○…2点  
△…1点

利用者の満足度

施設の期待度

活動の難易度

経済的な効果

課題の魅力性

相乗積

選定順位

テーマの候補

コロナ禍で活動量が  
少ない

◎

○

◎

○

○

**72**

2

認知症が進行して  
いないか不安である

△

○

○

○

○

**16**

5

コロナ禍で外的刺激が  
少ない

○

○

◎

○

△

**24**

3

利用者との関わりが  
少ない

○

△

○

△

◎

**12**

4

コロナ禍で生活が一変し  
ご利用者の笑顔が少なくな  
った。

○

◎

◎

◎

◎

**162**

1



# テーマ



笑顔で明るくがんばろう  
～コロナに負けるな!～

































## テーマの選定理由

- 笑顔になり心を満たして諦めの気持ちを  
取り除きたい
- コロナ禍であっても施設生活の中で、  
笑顔で今を楽しく生き生きと生活して  
ほしい。



# 活動計画

【計画  実施 】

活動計画	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
サークル命名 旗づくり	神前	 							
問題集め	蓮井	 							
テーマ選定	川渕	 							
現状把握	小西		 						
目標値設定	入砂		 						
要因解析	長野		 						
対策立案実施	中井 北地			 					
効果の確認	藤井泰				 				
歯止め	檜原				 				
反省とまとめ	多田				 				
発表会準備	藤井彩				 				

コロナ前とコロナ禍では本当にご利用者の 笑顔が少なくなってきた？？

レク記録の『笑顔の評価』から探ってみよう

## 笑顔の評価とは

1



無関心

3



怒っている

5



普通の表情

7



やや微笑  
んでいる

9



笑顔

11



最高の笑顔

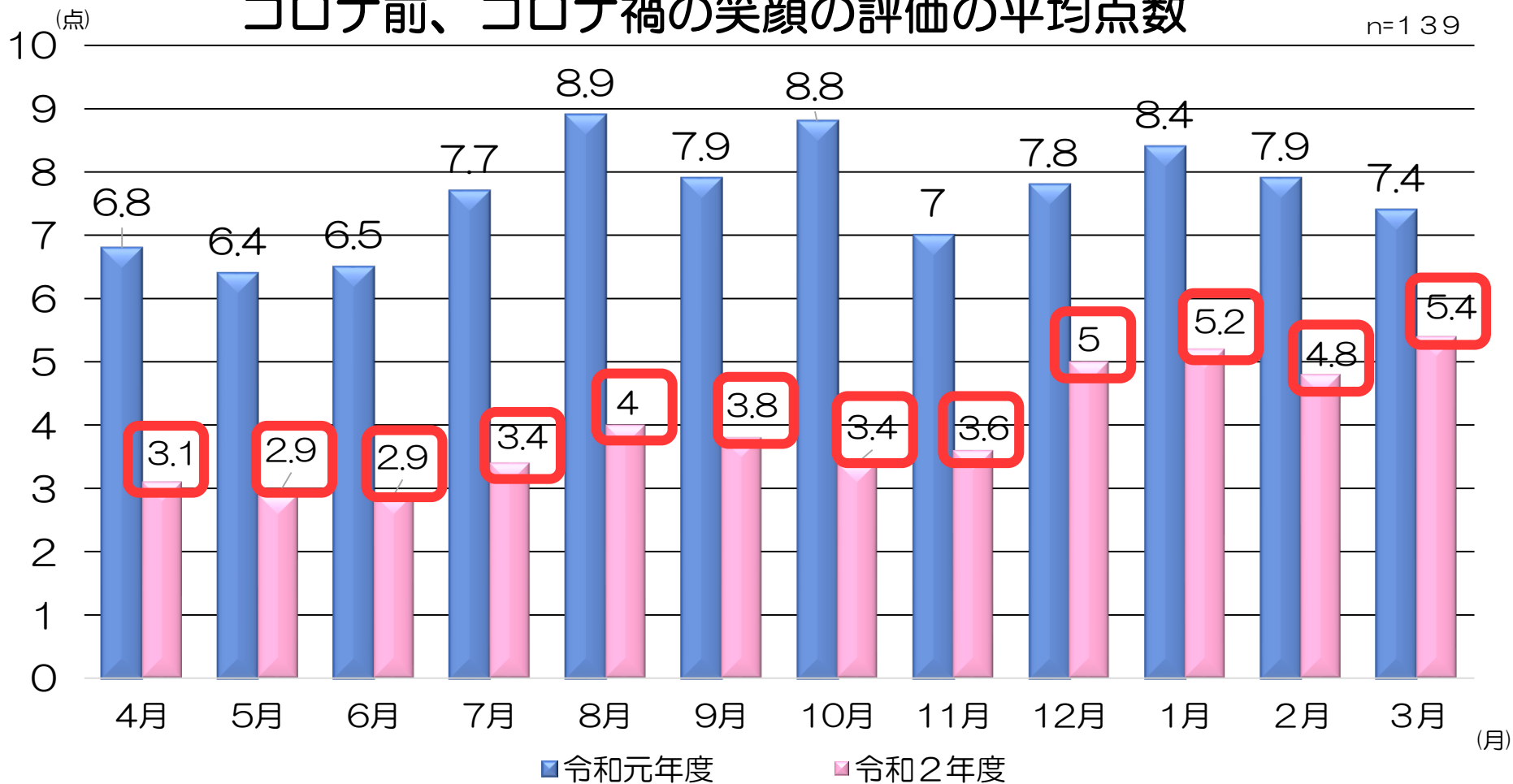
笑顔・表情を点数化(見える化)した  
施設独自の活動の満足度指標の一つです。



# 現状把握 1

## コロナ前、コロナ禍の笑顔の評価の平均点数

n=139

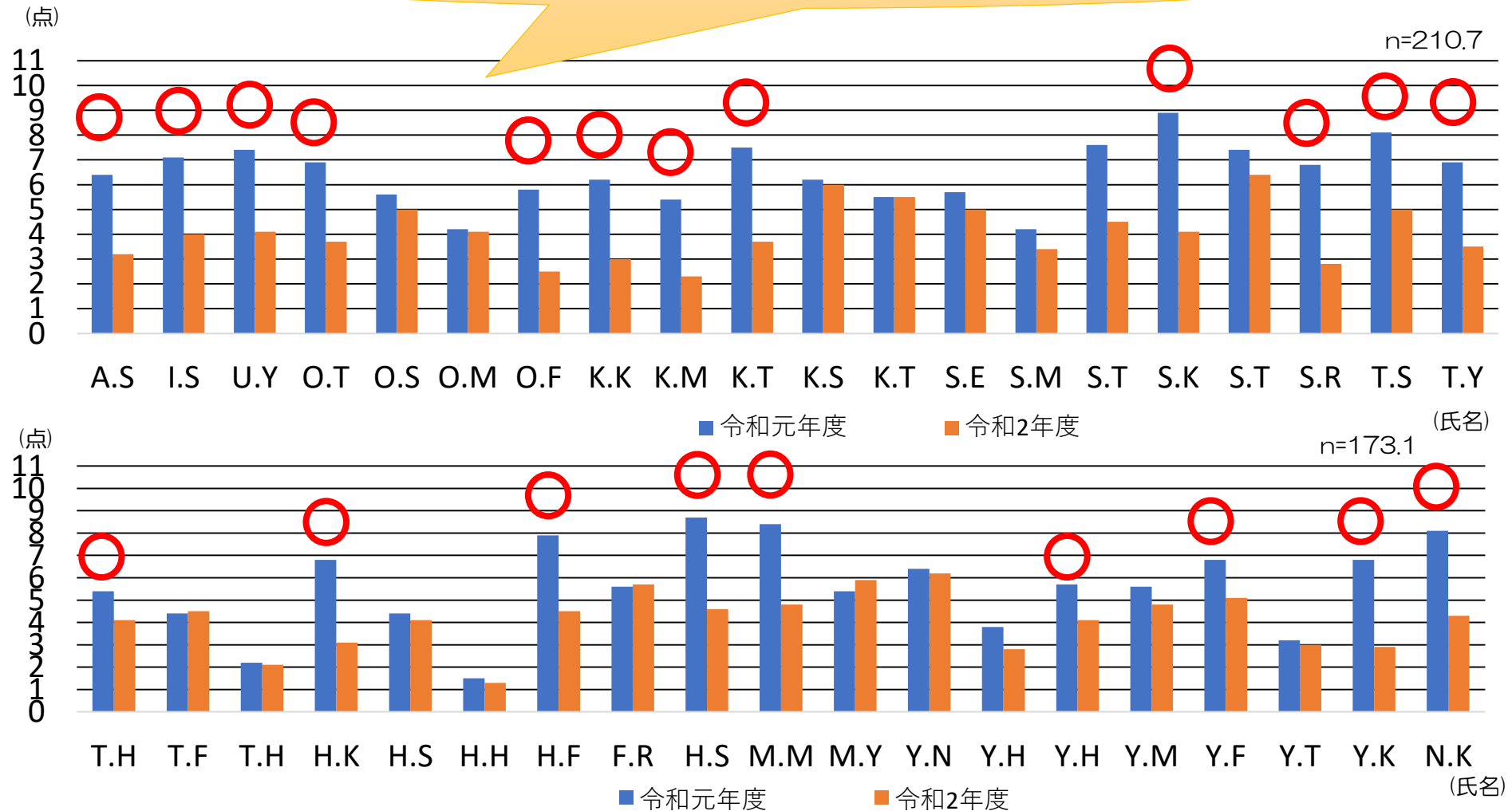


調査期間：令和3年5月16日～5月19日 作成日：令和3年6月2日 作成者：神前、小西

コロナ禍になってどの月も  
笑顔の点数が低くなっている

# 笑顔の評価平均点数（個別）

コロナ禍になりほとんどの方の笑顔の平均点が下がっている



21名の方が3点（1段階）以上低くなっている

# 現状把握 3

## PGC モラールスケール

心理的動揺・  
安定に関わる項目

6項目

孤独感・不満度  
に関わる項目

6項目

自分の老化に  
関わる項目

5項目

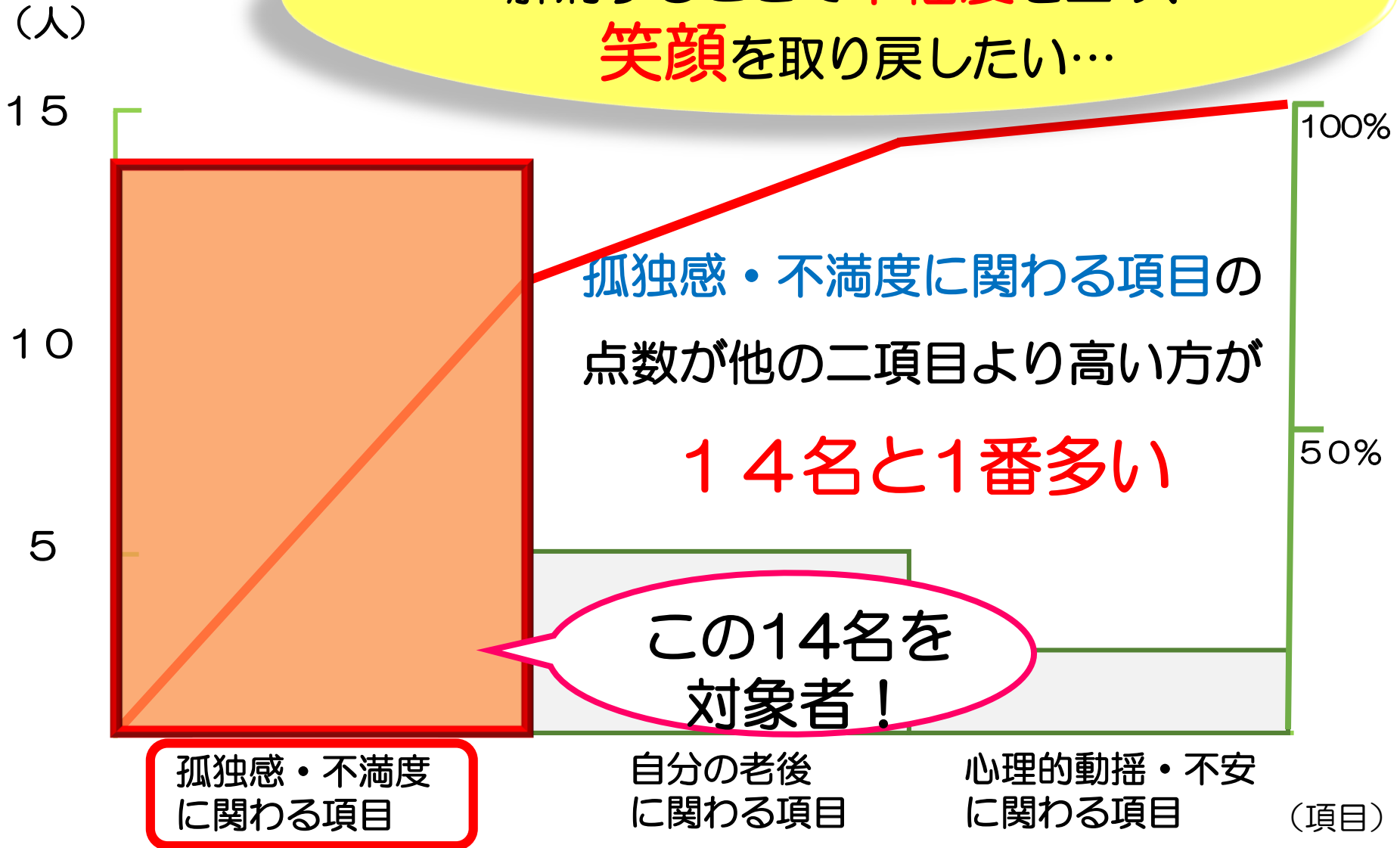
合計点数が高いほど  
【幸福感】が  
低くなる  
傾向あり

笑顔の評価が低くなった21名に対し  
『幸福度』を調査。

① 自分の人生は年を取るに従って段々悪くなっていくと感じますか？	1 そう思う	2 そうは思わない
② 去年と同じように元気だと思っていますか？	1 はい	2 いいえ
③ さびしいと感じることがありますか？	1 ない あまりない	2 時々感じる 感じる
④ 最近になって小さな事を気にするようになったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
⑤ 家族や親戚や友人との行き来に満足していますか？	1 満足	2 もっと会いたい
⑥ 年を取って前より役に立たなくなったと思いますか？	1 思う	2 思わない
⑦ 心配だったり気になったりして眠れない事がありますか？	1 ある	2 ない
⑧ 年を取ると言うことは若い時に考えていたより良いと思いますか？	1 良い	2 同じ 悪い
⑨ 生きていても仕方がないと思うことがありますか？	1 ある	2 ない あまりない
⑩ 若い時と同じように幸福だと思いますか？	1 はい	2 いいえ
⑪ 悲しい事が沢山あると感じますか？	1 はい	2 いいえ
⑫ 心配な事が沢山ありますか？	1 はい	2 いいえ
⑬ 前よりも腹を立てる回数が多くなったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
⑭ 生きる事は大変厳しい事だと思いますか？	1 はい	2 いいえ
⑮ 今の生活に満足していますか？	1 はい	2 いいえ
⑯ ものごとをいつも深刻に考える方ですか？	1 はい	2 いいえ
⑰ 心配ごとがあるとすぐにおろおろする方ですか？	1 はい	2 いいえ

# パレート図

孤独感や不満感を  
解消することで**幸福度**を上げ、  
**笑顔**を取り戻したい…



# 現状把握 4

## 孤独感・不満度に関わる6つの質問結果

### PCGモラールスケール

③ さみしいと感じることはありますか？	1 ない あまりない	2 時々感じる 感じる
	4名	10名
④ 最近になって小さなことを気にするようになったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名	9名
⑤ 家族や親せきや友人との行き来に満足していますか？	1 満足	2 もっと会いたい
	1名	13名
⑪ 悲しいことが沢山あると感じますか？	1 はい	2 いいえ
	5名	9名
⑭ 生きることは大変厳しいことだと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名	9名
⑮ 今の生活に満足していますか？	1 はい	2 いいえ
	8名	6名



## 孤独感・不満度に関わる6つを細かく聞き取り

③どんな時にさみしいと感じますか？

- 家族に会えない
- 楽しいことがない



④最近になってどんな小さな事を気にするようになったと思いますか？

- 人の話が、自分に言われているように聞こえる

⑤家族や親せきや友人との行き来になぜ満足していないのですか？

- みんなどうしよるか心配な
- ずっと顔が見れてない・直接会いたい



⑪なぜ悲しいと感じますか？

- 家族に会えない
- したいことができない

⑭なぜ生きることは大変厳しいことだと思いますか？

- 自分のことが自分でできない
- 世界中で疫病が流行している

⑮なぜ今の生活に満足してないのですか？

- 面白いことが何にもない
- したいこともコロナでできん



なぜ対象ご利用者の笑顔が少なくなり、孤独感や不満を感じていると思いますか？

• ご家族や他者との関わりが少なくストレスを感じているのではないか

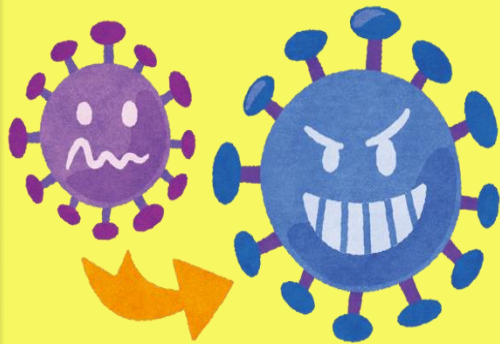
• コロナでレクや行事が減少し楽しみが減ったからではないか

• 居室に居る時間が長くなっているのではないか

• 認知症の進行が起因しているのではないか



キーワードは・・・



『コロナ』

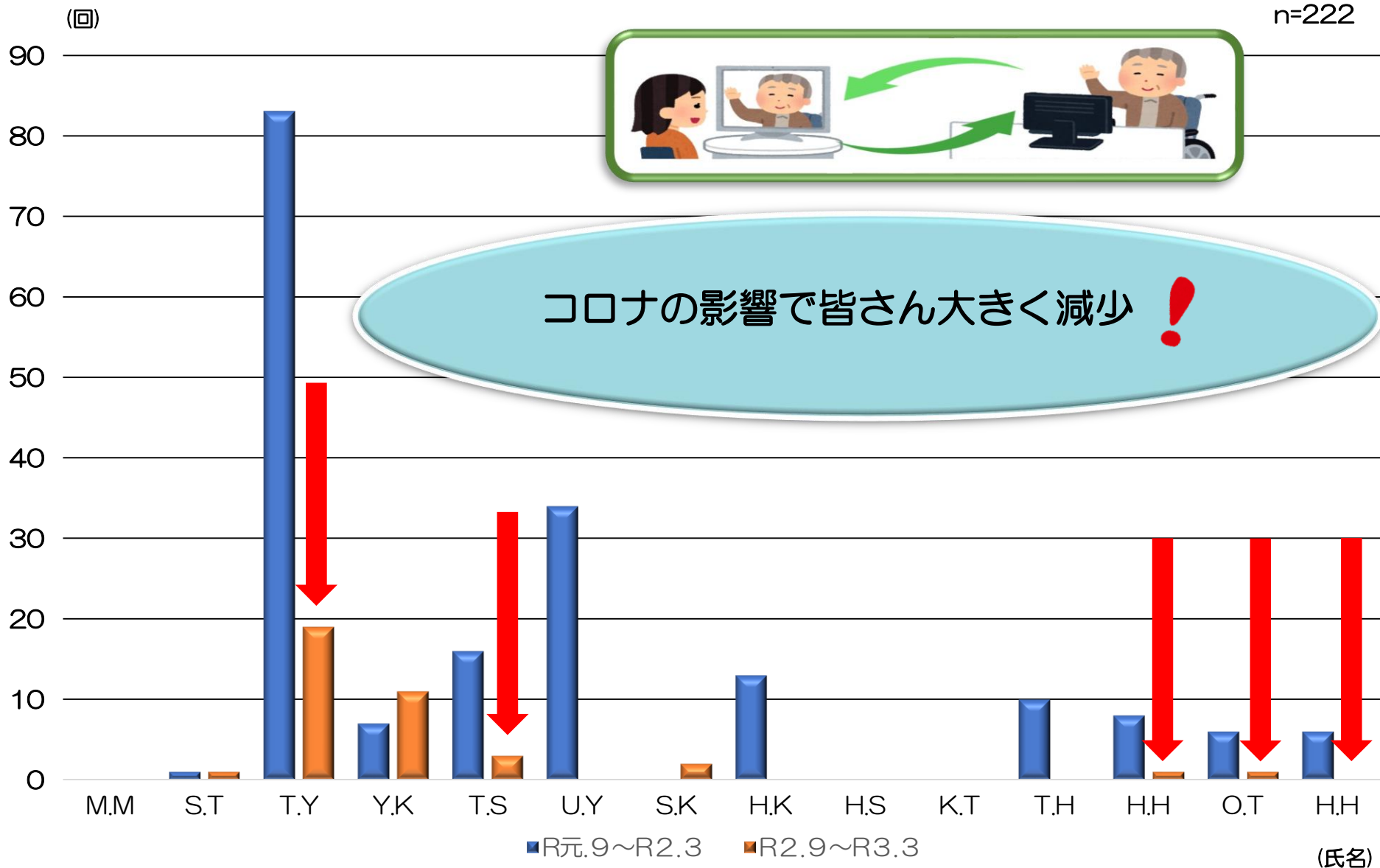
『人との関わり』

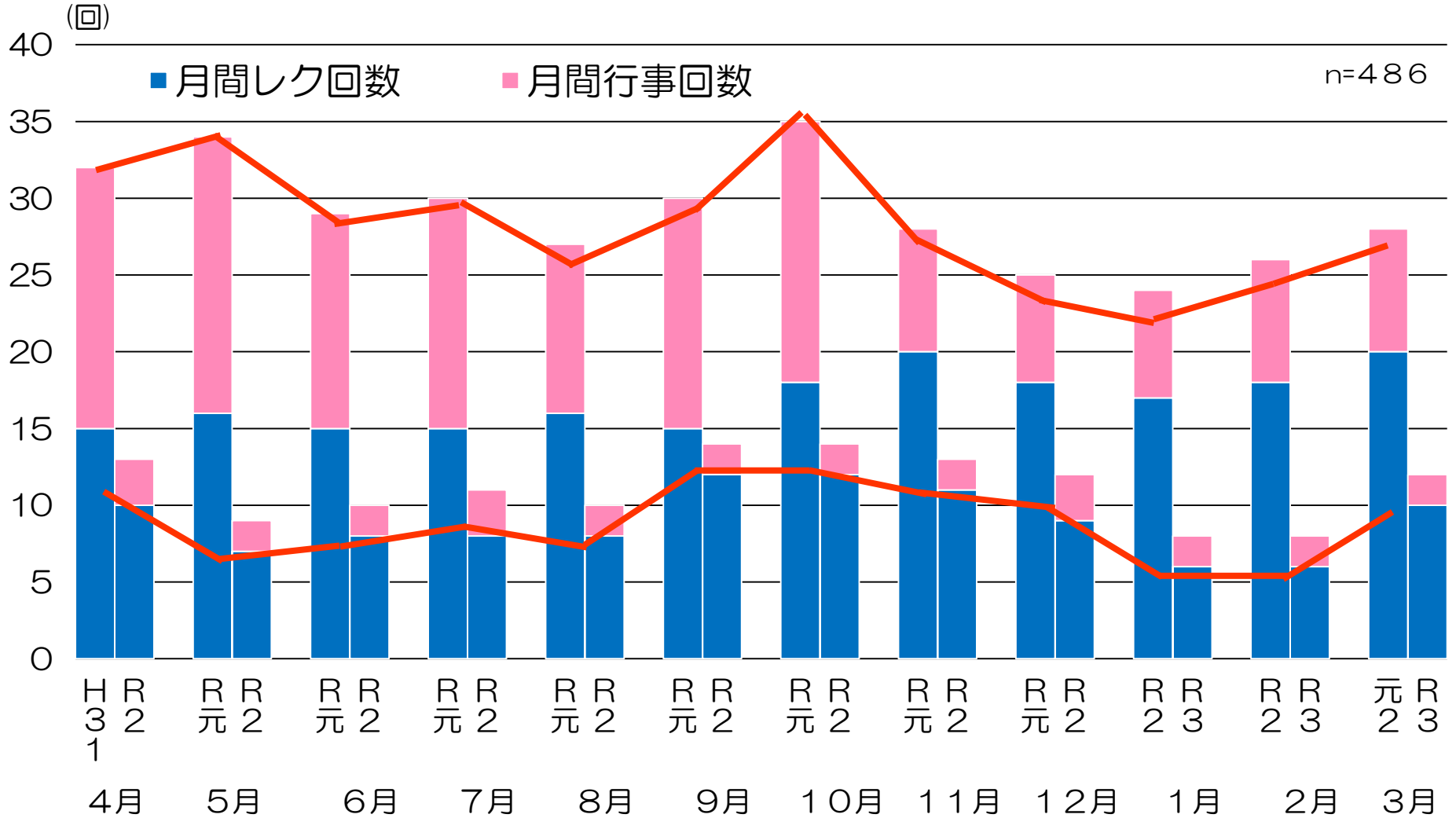


# 現状把握 7

## コロナ前、コロナ禍の面会回数 (コロナ禍は基本、週1のオンライン面会制限)

n=222





調査期間：令和3年5月15日～令和3年5月17日 作成日：令和3年5月24日 作成者：蓮井、北地

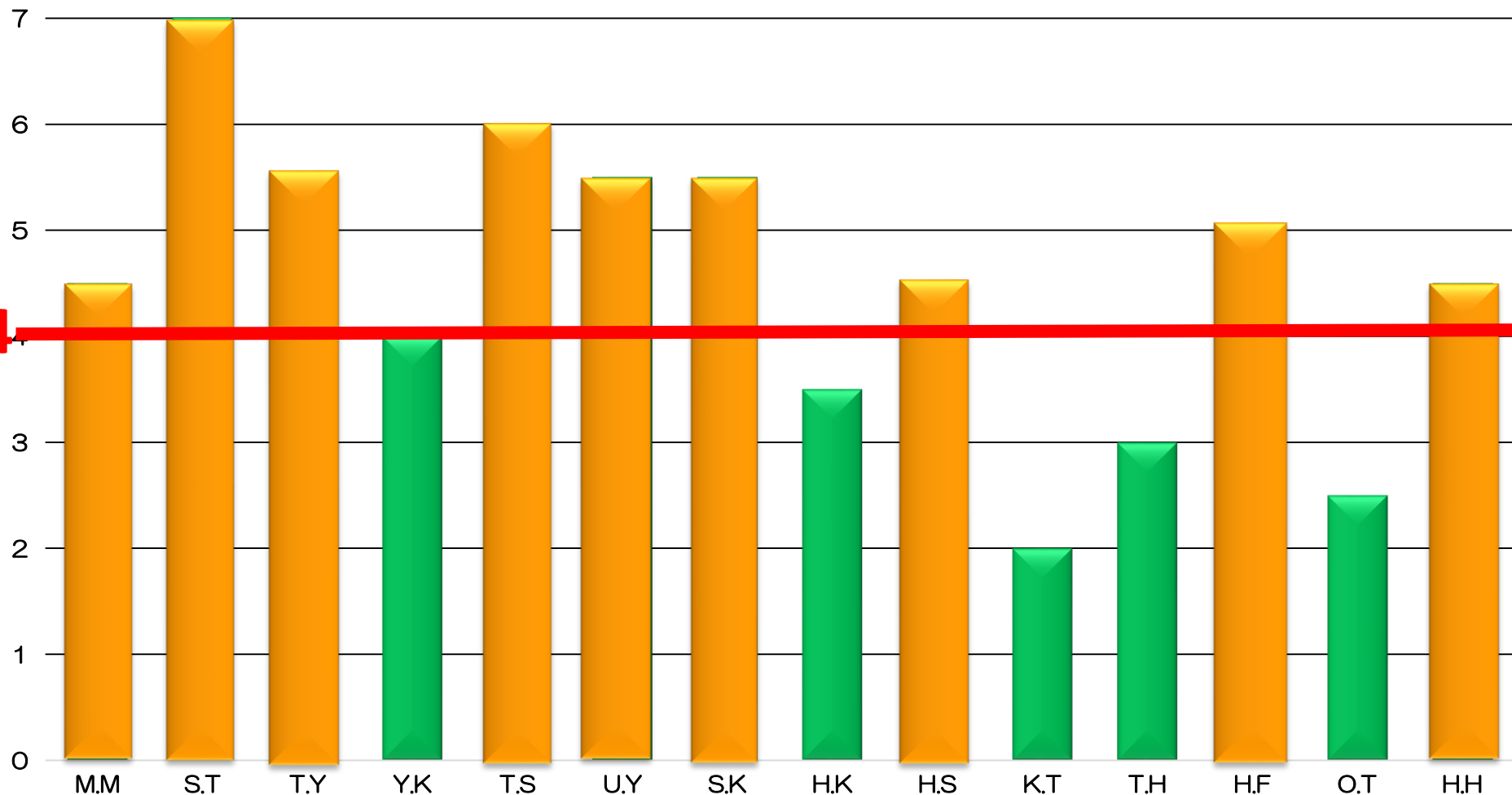
レク・行事等、外部交流の場が無くなりレク活動回数が大きく減少している



# 現状把握 9

(h)

日中の半分以上を居室で過ごされているご利用者が**9名**いる

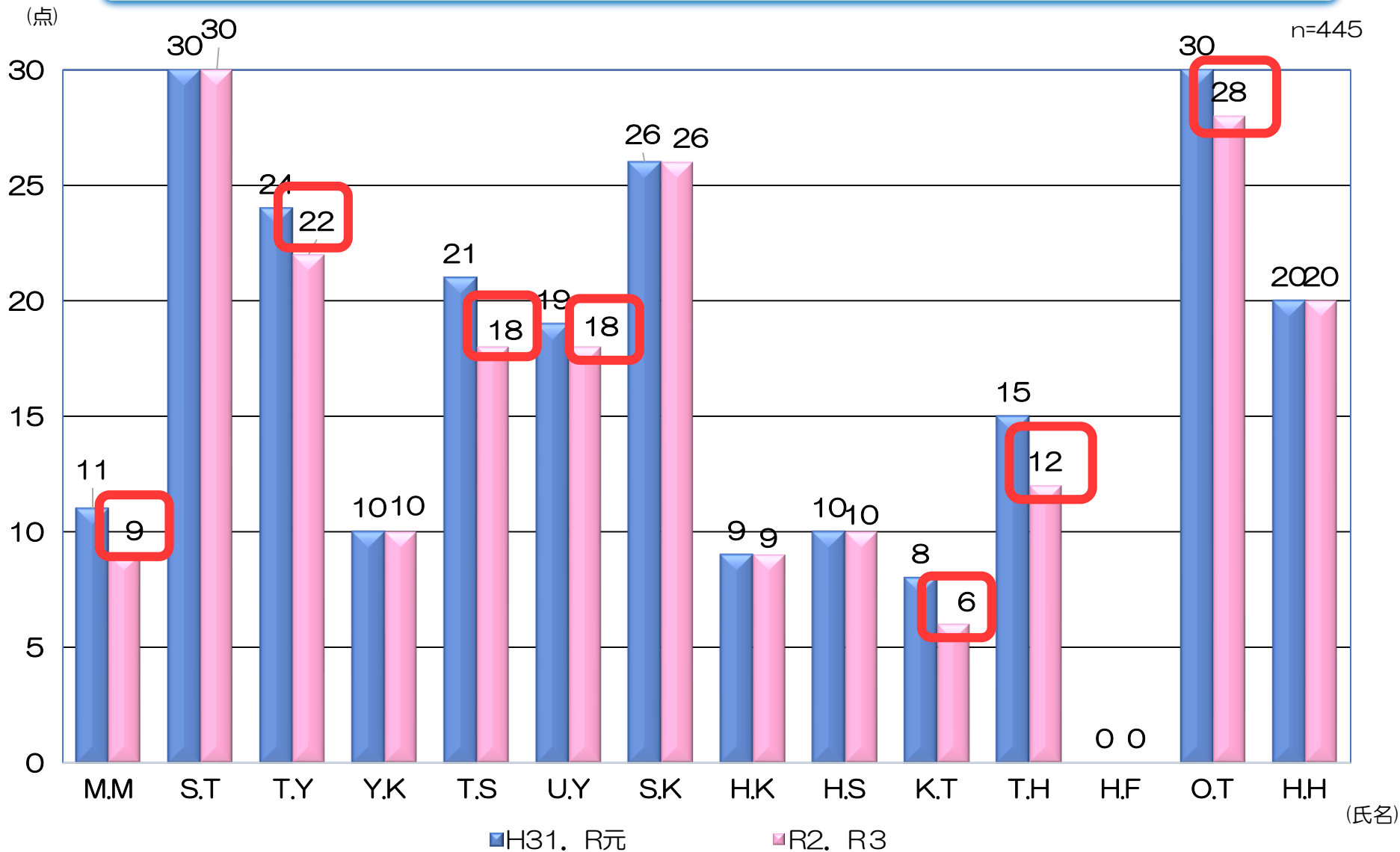


(氏名)

# 現状把握 10

## コロナ前、コロナ禍の長谷川式簡易知能評価スケール

14名中7名の点数が、少し低下しているが、**顕著なものではない**



## 現状把握から分かったこと

- コロナ禍になりレクや行事の回数が減少している
- コロナ禍で活動量が減少している
- 日中を居室で過ごす時間が増加している
- コロナ禍になり笑顔の点数も約半分に減少している
- コロナ禍でも、長谷川式スケールの点数に大きな減少は見られない
- コロナ禍前に面会が多かった人も、オンライン、直接面会が少なくなった
- 対象者は家族のオンライン面会の回数が少ない
- 今の生活が寂しい、満足していないと回答している人が多い
- 家族や親類、友人との行き来ができない事に不満を持っている
- 日常生活に不満を持っている利用者が増えている
- 職員から、利用者のストレスが上昇しているとの声が多く聞かれる
- 職員アンケートからレクや行事が減少し、楽しみが少なくなり、笑顔が減ったのではないかとこの意見が上がった



## 目標値の設定

対象者14名の

孤独感・不満足度

6項目の各点数を半分以下にする



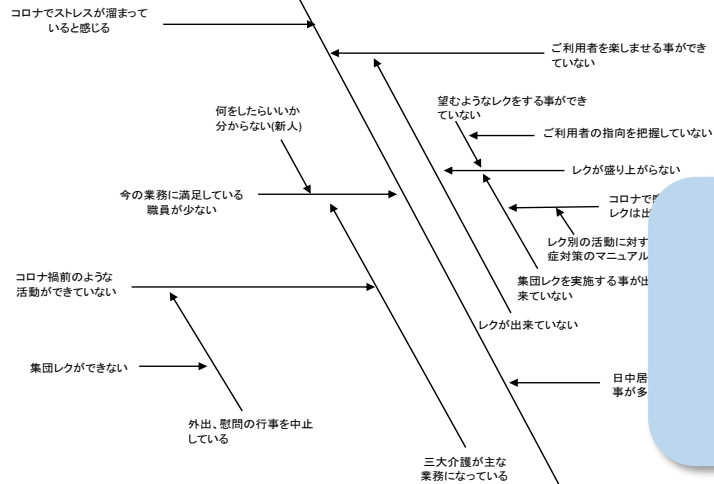
孤独感・不満足感を解消することで  
笑顔を取り戻したい



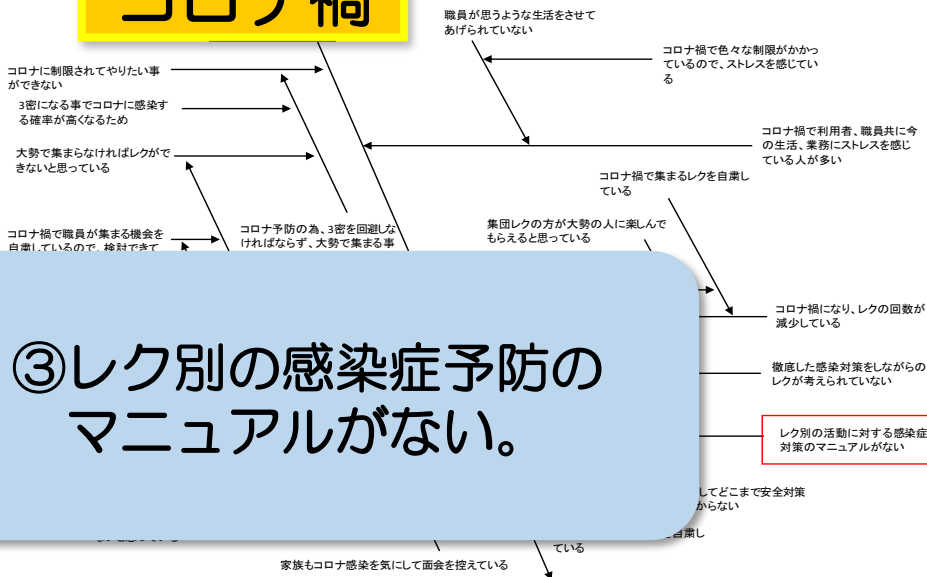
職員

コロナ禍

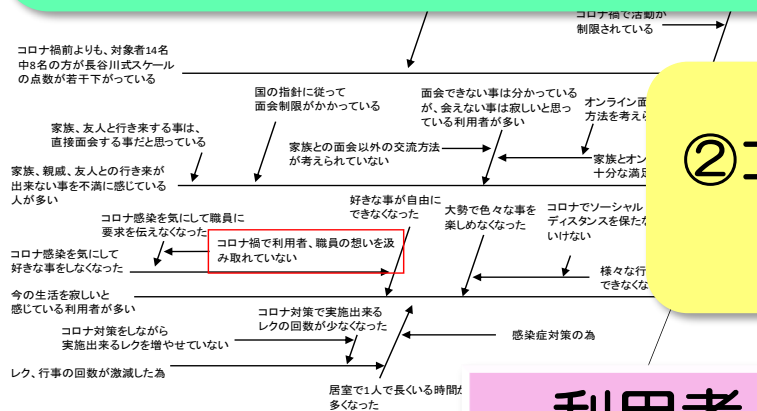
孤独感、不満がある、利用者が多いのはなぜか



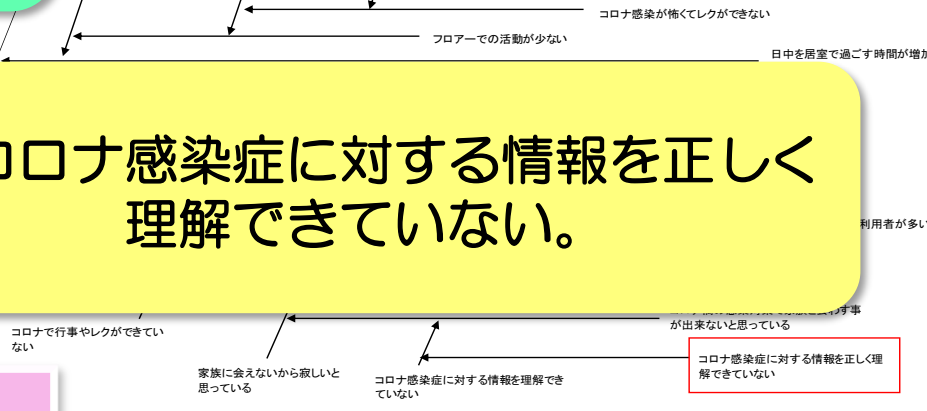
③レク別の感染症予防のマニュアルがない。



①コロナ禍で利用者、職員の想いを汲み取れていない。



②コロナ感染症に対する情報を正しく理解できていない。



利用者

対策案  
評価

だれが

いつまで

コロナ禍でもご利用者・職員の想いを汲み取る

職員が正しい  
コロナ感染症  
対策ができる  
知識を身につける

知識向上の場  
を作る

研修会を実施  
する

否

指導的立場の職員  
を育成する

誰を育成するか  
決める

否

育成研修を受ける

否

職員が今やり  
たいことを打  
ち出す

やりたいことの意  
見を集める

①BS法を活用  
し意見を集める

採

神前

初7  
旬月

どのような感  
染対策が必要  
か知る

ネットを活用  
し 感染症対  
策を知る

否

利用者・職員の想  
いを知る機会を作  
る

利用者との交流  
機会を増やす

②交流の時間  
を業務に組み  
入れる

採

藤井

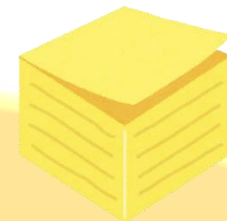
初7  
旬月

職員にアン  
ケート調査を  
実施する

どのような内  
容を聞き取る  
か決める

否

# やってみたい事をBS法を活用し意見を収集



野外活動に関する  
意見が多かった

多かった意見

- 散歩
- 野外給食
- BBQ
- ドライブ

少人数で  
出来るレクは  
なんだろう…

その他の意見

- 映画鑑賞
- カラオケ
- 脳トレ
- 体操(ラジオ体操)
- 作品づくり(手芸、切り絵等)
- ふれあいカフェ(おやつ作り)
- 園芸(野菜・花作り)

無理かぁ

これはセーフ



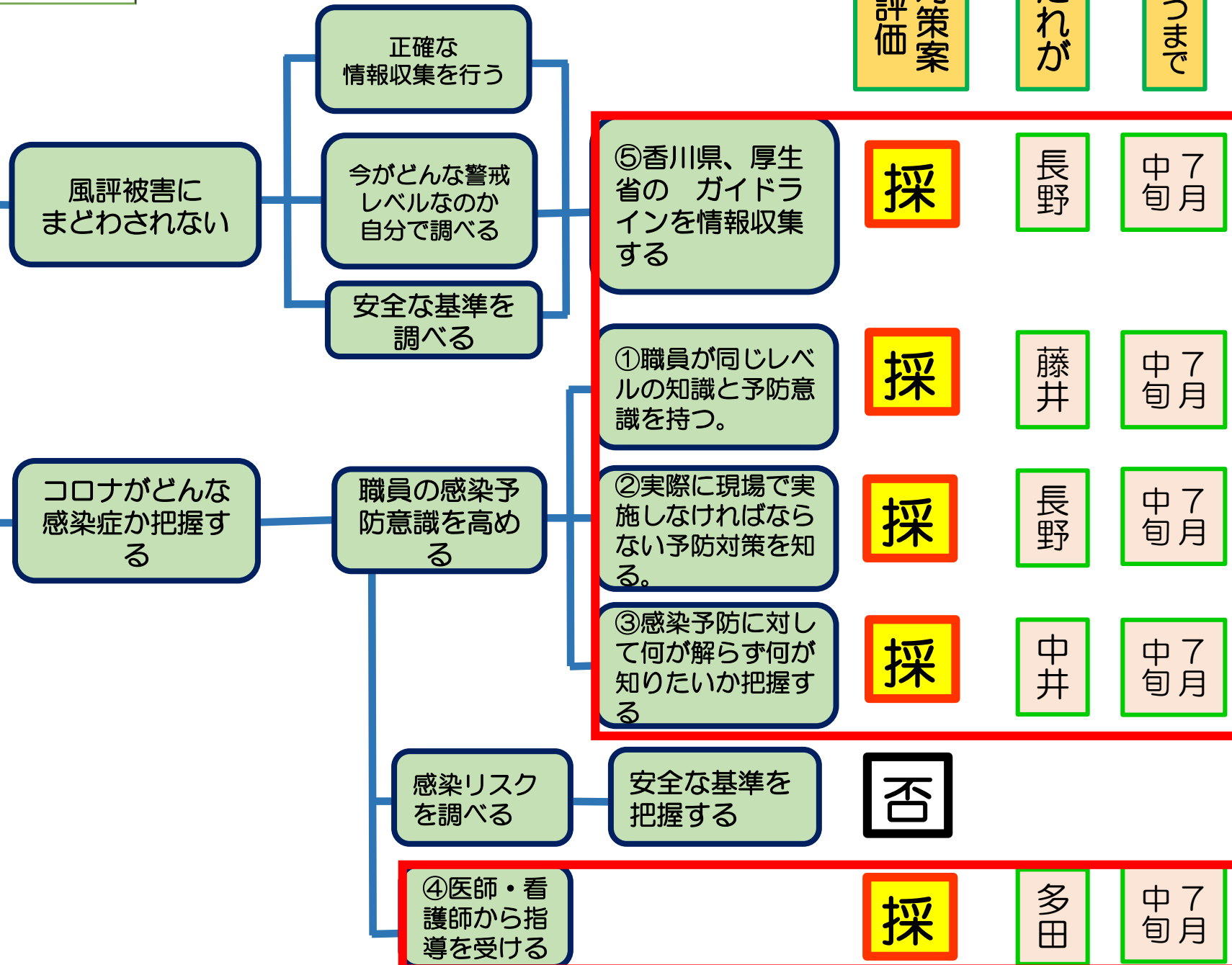


# 対策立案 ②

作成日：令和3年6月30日 作成者：長野、藤井泰

対策案 評価	だれが	いつまで
-----------	-----	------

コロナ感染症に対する情報を正しく理解する



職員が同じレベルの知識  
と予防意識をもつ

実際に現場で  
実施しなければならない  
予防対策を知る



コロナ感染症予防に関する**研修会**を実施しました

感染症予防について何が知りたいか職員から意見を収集し、  
研修内容に反映！

- 外出行事はダメ？
- 防護服ってどうするの？
- 新規利用者やショート利用者はずっと検査しないとイケないの？
- 換気は1日何回必要なの？
- レクの度に消毒必要？
- 大勢って何人なの？
- 消毒は何処までするの？
- プライベートも制限しないとダメなの？
- 面会はまだ再開できない？



# ガイドラインの情報も収集

## 新型コロナウイルス感染症に対する香川県処方針

	(1) 感染予防対策期	(2) 準感染警戒期	(3) 感染警戒期	(4) 感染拡大防止対策期	(5) 感染拡大防止集中対策期	(6) 緊急事態対策期
県内の感染状況	感染者が確認されていないか、抑制できている状態	一定数の感染者が確認されている状態	一定の感染者が確認されており、感染者が拡大する恐れがある状態	感染者が拡大している状態	感染者が急増している状態	爆発的な感染の拡大が続いている状態 (国の緊急事態宣言の対象区域に指定されることを想定)
① 直近1週間の累積新規感染者数 (直近1週間の人口10万人当たりの累積新規感染者数)	-	5人程度以上 (0.5人以上)	2.4人程度以上 (2.5人以上)	4.8人程度以上 (5人以上)	9.6人程度以上 (10人以上)	23.9人程度以上 (25人以上)
② 感染経路不明者の割合	-	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
③ 直近1週間と先週1週間の比較	-	-	-	-	直近1週間が先週1週間より多い	直近1週間が先週1週間より多い
④ 病床のひっ迫具合 (病床全体)	-	-	-	-	最大確保病床の占有率1/5以上又は現時点の確保病床の占有率1/4以上	最大確保病床の占有率1/2以上
④ (うち重症者用病床)	-	-	-	-	最大確保病床の占有率1/5以上又は現時点の確保病床の占有率1/4以上	最大確保病床の占有率1/2以上
⑤ 療養者数 (人口10万人当たりの全療養者数)	-	-	-	-	9.6人程度以上 (10人以上)	23.9人程度以上 (25人以上)
⑥ 直近1週間のPCR陽性率	-	-	-	-	10%以上	10%以上
解除の判断基準	解除にあたっては、新しい対策期に入ってから、一定期間(少なくとも2週間)経過後、新規感染者が減少傾向になっている状態で、①～⑥の指標等を踏まえ総合的に判断					
○各対策期への移行に当たっては、医療提供体制、監視体制(検査・相談等の件数)、クラスター発生状況、他都道府県の発生状況などを総合的に判断。また、警戒を強める際は、感染の傾向、濃厚接触者の状況、感染地域の状況等を踏まえ、移行基準より早めの移行も検討 ○県独自の「感染警戒宣言」、「緊急事態宣言」は、感染状況等に応じて適時に発出を検討 ○国から特措法に基づく新たな考え方が示された場合には改訂を検討						

# 感染症の研修会



感染症予防策として、  
数回に分け少人数で研修会を  
実施しました



独立行政法人 国立病院機構  
四国こどもおとなの医療センター附属  
善通寺看護学校

講師 阿部美知子先生



# 対策立案 ③

レク別の感染症予防マニュアルを作成する

コロナ禍でレクを実施する為  
に気になる事を知りたい事  
を抽出する

①コロナ禍でレクを実施にあたって  
気になる事を職員アンケートをする

採

入砂

下7旬月

コロナ禍で実施するレクの内容を知る

②コロナ禍でもできるレクをピックアップする

採

藤井

下7旬月

コロナ禍での個々の活動の実施方法を決める

③個々のレクの流れに沿って感染予防すべきポイントを決める

採

小西

下7旬月

個々のレクでの感染リスクを洗い出す

否

対策案  
評価

だれが

いつまで

職員にコロナ禍でレクを実施するにあたり気になることをアンケート調査



本当にレクをしてもいいのか？

感染対策で制限された中でレクで楽しんでいたけるのか？

どこまで感染症対策をすればいいのか不安



# 施設独自のレク共通感染症対策マニュアル

## レクリエーション時の感染対策マニュアル

～安全に楽しくレクリエーションをするには～

- コロナウイルス感染予防をするためには、職員、高齢者のお一人お一人が手洗い・消毒・うがい、検温・マスクをしっかりとする
- レクリエーションの前後で必ず換気を行う
- 人との距離は2mくらい離れるように
- レクリエーション前は、喉の乾燥が原因で咳をしないよう考慮し、お茶を飲んだり・水を飲んだりする
- 咳が出る際は、咳エチケットに留意する

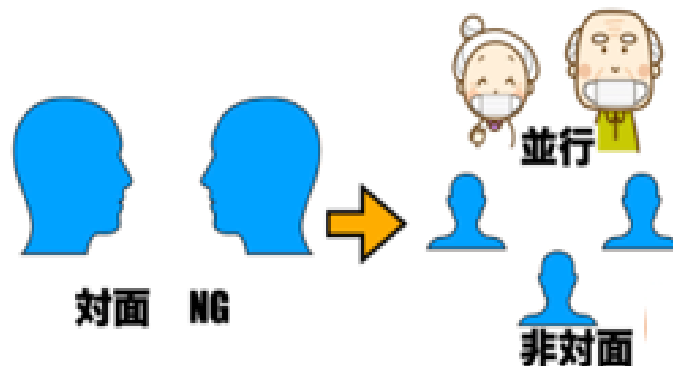
⇩

～声かけの方法～

### 声掛けの工夫



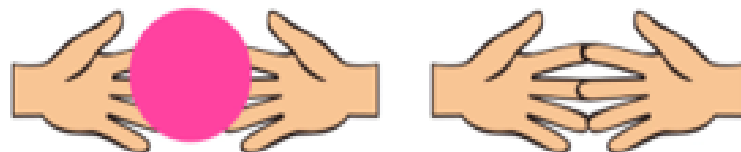
声かけの方法1つでコミュニケーションが変わります。右のような前向きな声かけを実践するようにしましょう。



コロナウイルス感染予防の観点から言うと、対面は良くありません。なので、レクを実施する際は、横並びの並行や対面にならないように非対面の位置でレクリエーションを行きましょう。

手で同じものに触れない

⇩



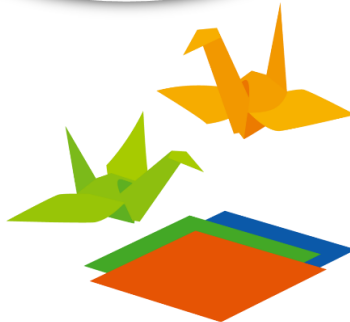
手にウイルスが付着していると口や目や鼻を触った時に体内にウイルスを侵入させてしまう危険性が高くなります。また、コロナウイルス感染のクラスターを発生させてしまうことにもつながるので、手で同じモノに触れないようにしましょう。

# コロナ禍でも実施可能なレクをピックアップ

これは  
どうかな？



これなら  
できそう



レク名 園芸

## 注意点

- ・手袋は必ずつける。
- ・入室、退室の際は設置の濡れタオルを踏んでから。
- ・水やり、草抜きは基本、職員1人に対し利用者1人
- ・プランタに対し2人までとする。

レク名 お手紙作成

## 注意点

- ・写真はリラックスできるように担当職員が撮る。
- ・手書きのメッセージを書く。
- ・1テーブル2名(順次交代する)
- ・ペン・机はその都度、消毒する。

レク名 映画鑑賞

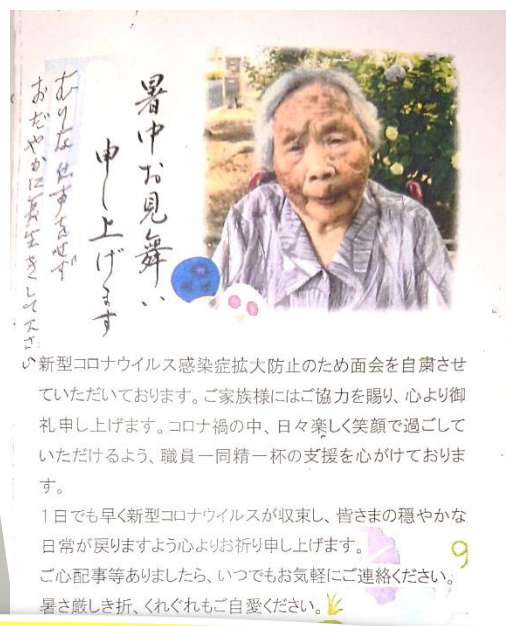
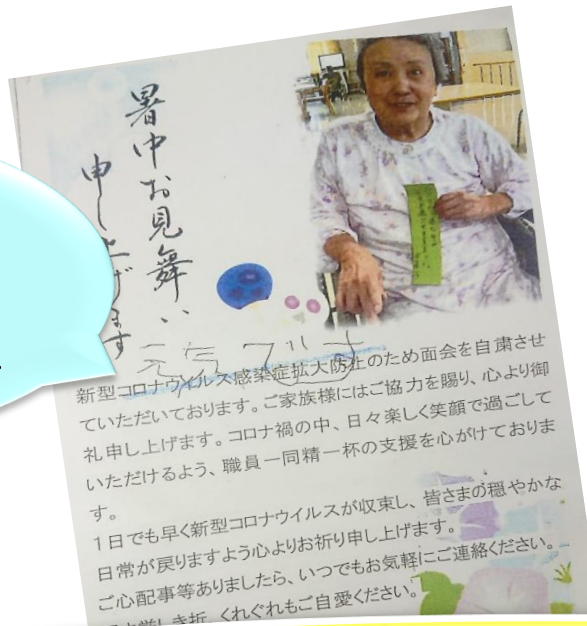
## 注意点

- ・人数は8名までとする。
- ・一方方向でジグザグに配置。
- ・SS前のTVを使用(YOU TUBE)
- ・時代劇、ドリフは好評。
- ・椅子はその場所専用で。

レク時の注意点をまとめたマニュアルを作成

# 対策立案3

皆さん自筆で  
ご家族に  
メッセージを  
書いていただきました



## ご家族への定期的なお便り作成



映画・歌謡曲鑑賞会



園芸活動



# 効果の確認 1

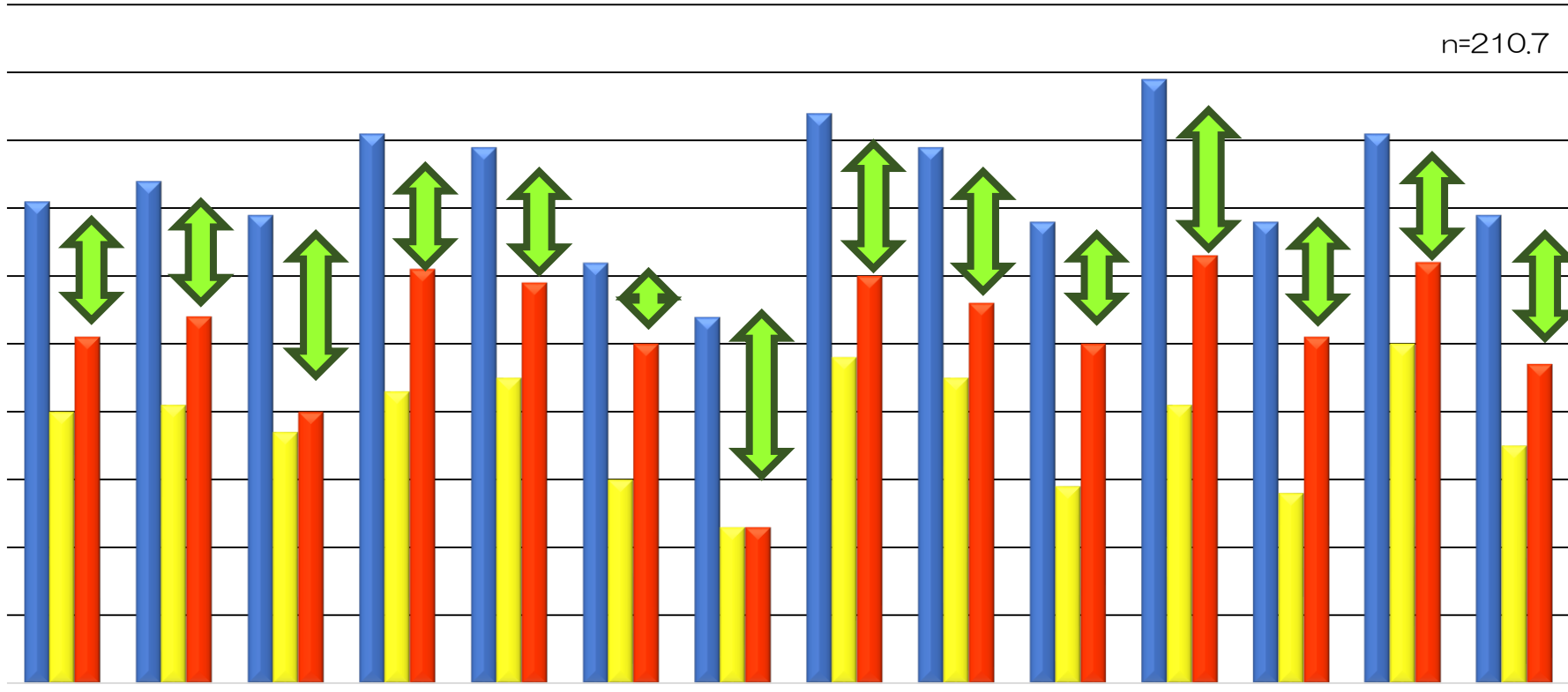
## 笑顔の評価平均点数（個別）

14名中12名が1点以上とアップが見られましたが  
改善幅が小さく、**コロナ前の笑顔の水準まで戻っていない**

(点)

11  
10  
9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1  
0

n=210.7



■ コロナ前    ■ コロナ期間    ■ 対策後    (氏名)

PCGモラールスケール（孤独感・不満度に関わる6項目の結果）

③ さみしいと感じることはありますか？	1 ない あまりない	2 時々感じる 感じる
	1 1名	10名 ⇒ 3名
④ 最近になって小さなことを気にするようになったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑤ 家族や親せきや友人との行き来に満足していますか？	1 満足	2 もっと会いたい
	1 1名	1 3名
⑪ 悲しいことが沢山あると感じますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑭ 生きることは大変厳しいことだと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑮ 今の生活に満足していますか？	1 はい	2 いいえ
	1 1名	6名 ⇒ 3名

# 効果確認 2

この項目だけは改善できていない！

## PCGモラールスケール（孤独感・不満度に関わる6項目の結果）

③ さみしいと感じることはありませんか？	1 ない あまりない	2 時々感じる 感じる
	1 1名	10名 ⇒ 3名
④ 最近になって小さなことを気にするようになったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑤ 家族や親せきや友人との行き来に満足していますか？	1 満足	2 もっと会いたい
	1 1名	1 3名
⑪ 悲しいことが沢山あると感じますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑭ 生きることは大変厳しいことだと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	5名 ⇒ 2名	1 2名
⑮ 今の生活に満足していますか？	1 はい	2 いいえ
	1 1名	6名 ⇒ 3名

調査期間：令和3年8月10日～8月13日 作成日：令和3年8月14日 作成者：蓮井、長野

この項目を改善しない限り、コロナ前のような笑顔を取り戻せないのでは・・・



# 国のガイドライン参照

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

## 3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い  
密閉空間

②多数が集まる  
密集場所

③間近で会話や  
発声をする  
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。  
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろった場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には  
消毒液などを行ってください。



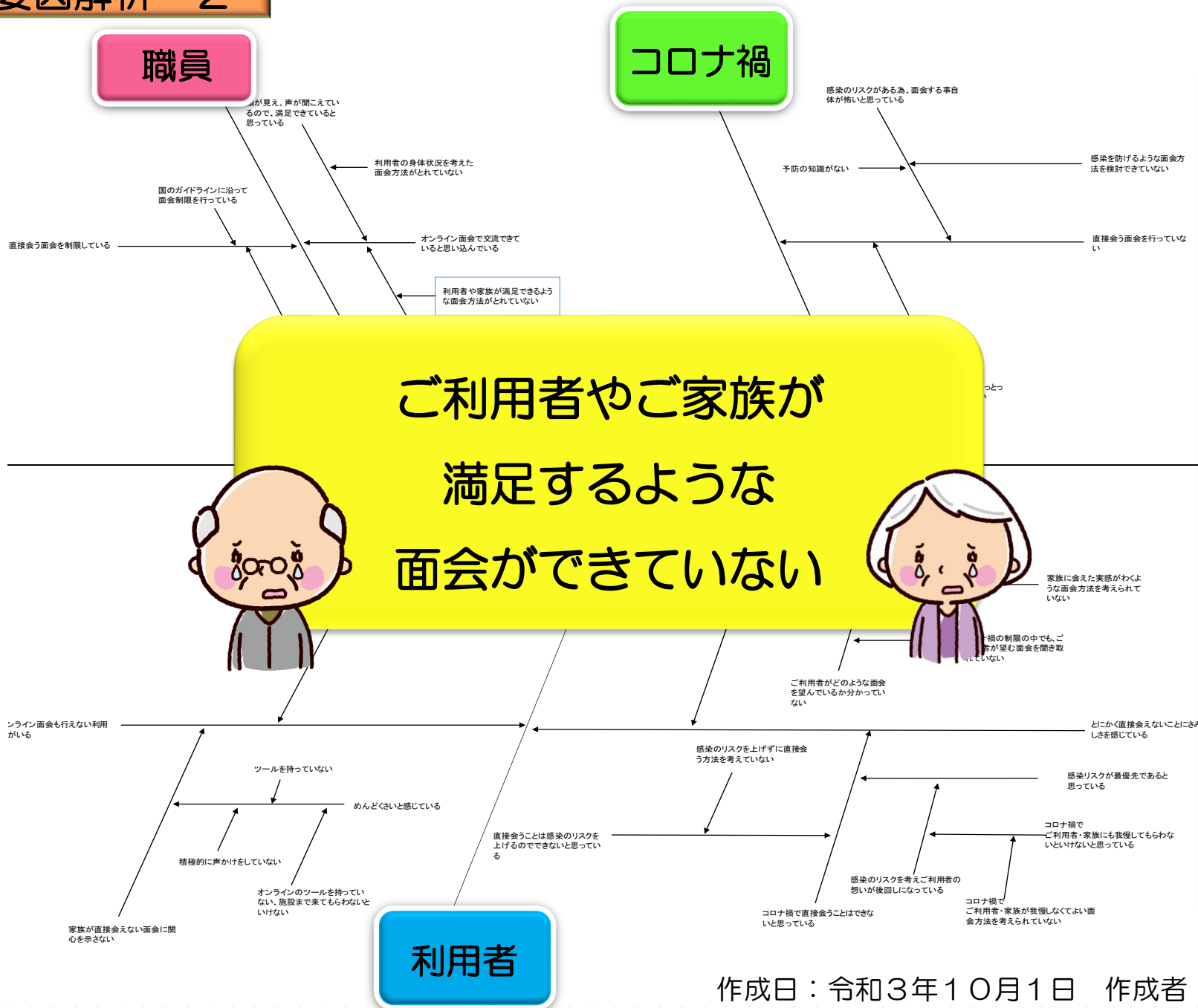
【オンライン面会】の実施

||

ご利用者はオンライン面会で、  
家族との交流に  
満足していただいていると感じて  
いた



実際はご利用者は満足し  
ていただけていなかった



家族や親戚や友人との行き来に満足出来ていない

# 対策立案 ④

対策案  
評価

だれが

いつまで

ご利用者やご家族が満足できるような面会方法を考える

ご利用者・ご家族がどのように面会すれば満足できるか知る

ご利用者・ご家族が何を求めているのか聞く

ご利用者・ご家族に求めている面会方法を聞き取り調査をする

採

神前

初旬 9月

コロナ禍でもどのような面会方法があるか考える

安全な環境を把握する

職員が意見を出し合う場を持つ

採

小西

初旬 9月

コロナ感染症を徹底した上での様々な面会方法を考える

採

藤井

初旬 9月

県の感染状況に合わせた面会方法を随時とっていく

県内の感染警戒レベルに合わせ面会方法を変化させていくための施設マニュアルを作成する

採

中井

初旬 9月

# 面会に何を求めているのか？



- 直接会って話したい
- オンラインでは、写真を見ているようだ
- 言っていることが分からない

- 顔を直接見て  
元気にしているか知りたい
- 差し入れで喜んでもらいたい
- オンラインでは反応が分かりにくい
- コロナ禍で施設に行くこと  
自体ためらう



香川県の感染警戒レベル	ご利用者面会方法	面会場所	ご家族への周知方法	オンライン面会の注意点	注意点
緊急事態宣言 まん延防止重点措置等 緊急事態対策期 感染拡大防止集中対策期 感染拡大防止対策期	面会制限により面会中止、オンライン面会にて対応	なし(面会禁止)、オンライン面会(各フロアー)	文章により通知	・予約制 平日、土曜、祝日： 10：00～11：30、 14：00～16：00 日曜： 9：00～11：30、 14：00～16：00	・面会禁止（問い合わせに対応） ・定期的な状況説明（1か月に1回程度） ・差し入れは預かる
感染警戒期 準感染警戒期 感染予防対策期	施設内面会（1階）	1階面会ボックス 1階会議室	文章により通知	・予約制 平日、土曜、祝日：10：00～11：30、 14：00～16：00 日曜：9：00～11：30、 14：00～16：00 ・1週間に一回（面会者はワクチン接種と体調不良がないことが条件） ・短時間の面会をお願いします。 ・県外の面会者は要相談	・制限なし ・面会者のワクチン接種、体調不良のないことは確認
警戒レベル発令なし	施設内面会（居室）	2・3階居室			

ご利用者・ご家族の意見をもとに検討した結果…

こちらから自宅に出向く形で  
面会できないものか…

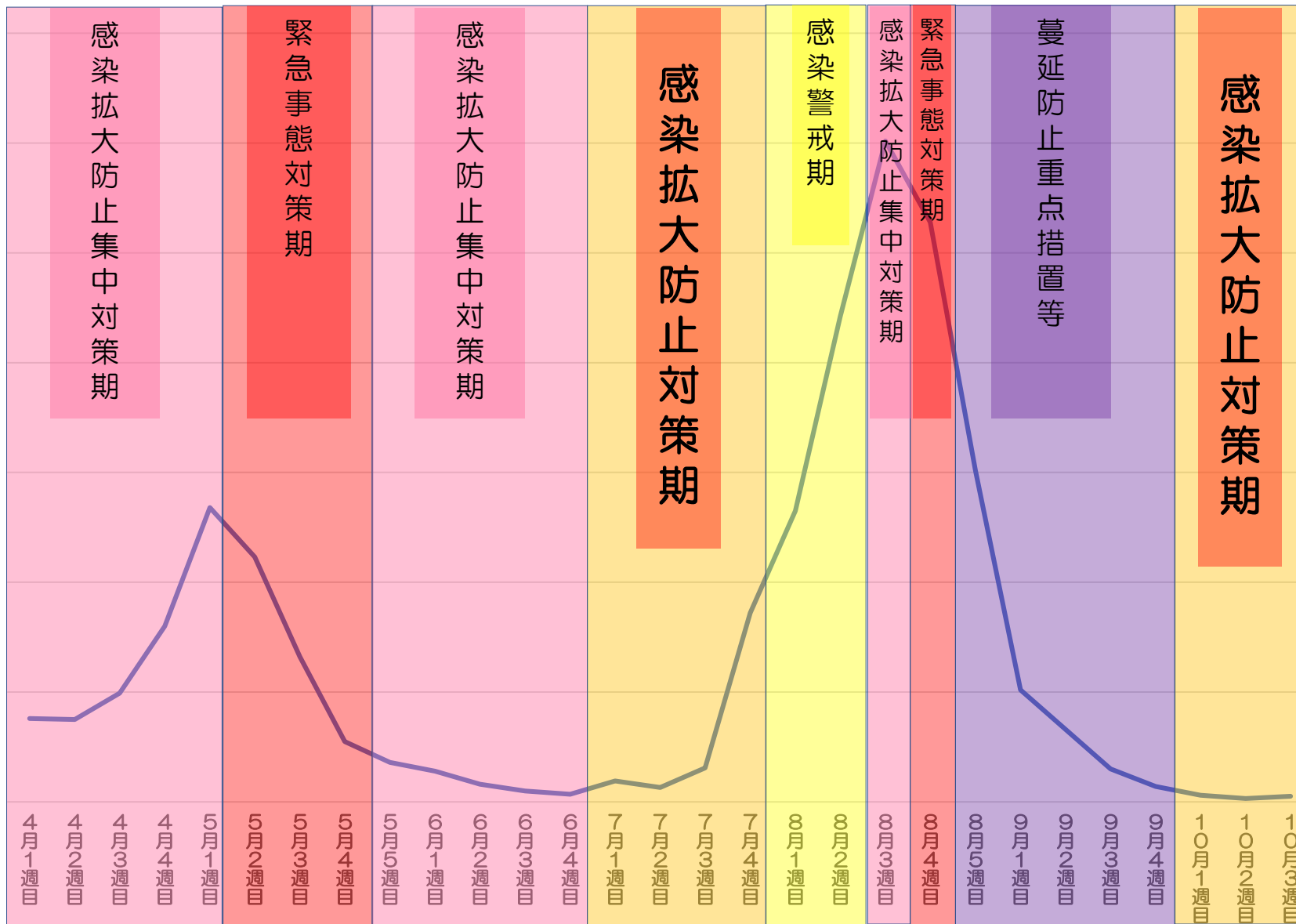


# 対策立案 4

## 香川県コロナ感染者数と感染レベルの推移

n=3785

(人)



調査期間：令和3年10月22日

作成日：令和3年10月23日

作成者：神前、小西

(期間)

県内の感染状況を見ながら、  
まん延防止重点措置等が  
明けた際には、  
自宅に出向く形で面会するため  
施設全体で準備を  
進めていくことにしました。





# ふるさと訪問

家族に会える

外出ができる

自宅に帰れる



3つの願いを一度に叶えられる！



# スケジュール表

石田・神前方面			
職員	A班(10月1日)	B班(10月8日)	職員
植村	■	■	西本
佐藤	■	■	
	○ 1号車	○ 1号車	
	■	■	
杉本	■	■	佐々木 中井
	○ 2号車	○ 2号車	
	■	■	

◎・・・車椅子  
△・・・乗り移り

三木方面	
職員	A班(10月11日)
入砂	■
山野	■
	○ 1号車
	■
堀口	■
	○ 2号車
	■

津田・大川方面			
職員	A班(10月15日)	B班(10月18日)	職員
多田テ	■	■	眞田
	○ 1号車	○ 1号車	
	■	■	
古川	■	■	鹿庭 三好
前田	■	■	
	○ 2号車	○ 2号車	
	■	■	

自宅の地域別に分け  
1台当たり4名以下の定員で

寝たきりを含む  
全ご利用者の自宅訪問



事前にご家族に訪問予定時刻を  
お知らせしました



楽しみに待ってます。  
ぜひ、お願いします。



車外に出て、おやつ時間



必ず看護師が同行

9月末に香川県は  
まん延防止等重点措置が解除

計画した「ふるさと訪問」が  
10月から本当に実現することに





# ふるさと訪問 スナップ



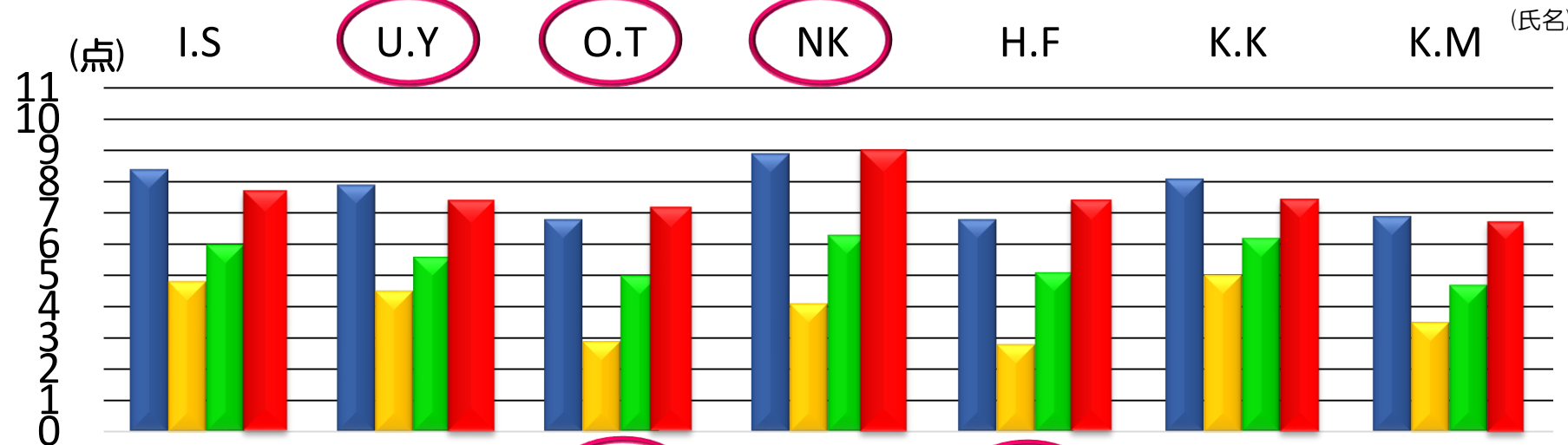
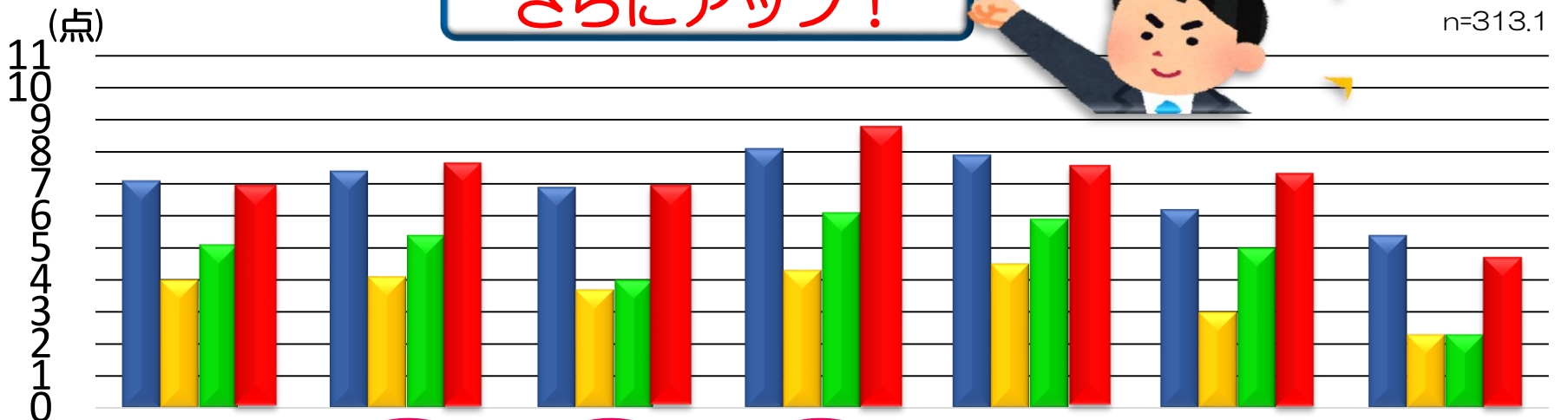
# 効果の確認 3

## PCGモラールスケール（孤独感・不満度に関わる6項目の結果）

③ さみしいと感じることはありますか？	1 ない あまりない	2 時々感じる 感じる
	1 1名 → 13名	1名
④ 最近になって小さなことを気にするようになったと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	2名	12名 → 12名
⑤ 家族や親せきや友人との行き来に満足していますか？	1 満足	2 もっと会いたい
	1名 → 13名	1名
⑪ 悲しいことが沢山あると感じますか？	1 はい	2 いいえ
	1名	12名 → 13名
⑭ 生きることは大変厳しいことだと思いますか？	1 はい	2 いいえ
	2名	12名 → 12名
⑮ 今の生活に満足していますか？	1 はい	2 いいえ
	11名 → 12名	2名

# 効果の確認 4

## 笑顔の評価平均点数 対策前後（個別）



■ R1 ■ R2 ■ R3 ■ R4

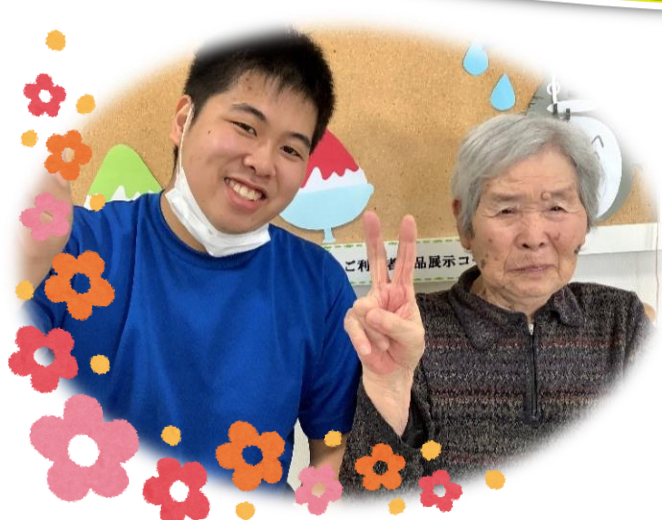
対策後



ふるさと訪問を  
された後は…



また家族に会えるという希望が湧き、  
様々な面で生活の中に活気が生まれ  
前向きな発言や行動が見られるようになりました





## ご家族より

コロナ禍でも  
こんないい企画を  
してもらって  
本当にありがたい

身体が不自由で施設に  
なかなか行けないので  
家内に帰ってきてもらって  
嬉しかったです





## メンバーの声

無理だと思っていたことも、できないのではなく、  
どうすればできるのかを考え、  
あきらめずに活動して良かった



# 有形効果



目標達成率

100%



現状改善率

200%



## 無形効果

- コロナ禍で、出来ないではなく、どうすればできるのかを考え、諦めずに活動し、実現できたことで、職員のやる気・やりがいに繋がった。
- コロナ禍であっても、多職種間の協力体制の中、新しい視点で物事を考え、柔軟に対応できたことで今まで以上に ご利用者の想いに寄り添えるようになった。
- コロナ禍だからこそ、家族が面会に来られないならこちらから出向いていこうと言う逆転の発想が生まれ積極的な活動ができた。



## 波及効果

- コロナ禍での生活に対する捉え方の意識改革ができ、新人や若い職員のフレッシュな意見を取り入れ、新しい方向性を見出すことができた。
- 対象者だけでなく、他フロアーにも活動が波及し寝たきりの方も含め、全ご利用者全員のふるさと訪問が実現できた。
- 対策実現に向けて、ご家族や各部署（多職種）の協力を得ることで、ご利用者の最高の笑顔を引き出せ、ご利用者・ご家族・職員の満足に繋がった。



# 歯止め

分類	何を	いつ	どこで	担当者	どうする
標準化	ふるさと訪問を	年2回 春・秋	職員研修会	サービス向上委員会	年間計画に組み込み管理しながら実施
教育	コロナを含む感染症の知識を深める	年に2回 7月と12月	職員研修会	看護委員会	県や国の情報収集し、理解を深めてもらう
管理	レクによる感染マニュアルを	感染状況によって	職員研修会	リハレク委員会、看護師長	感染マニュアルの内容を見直し管理する
	ご利用者の想いを汲み取る	余暇時間の中で	フロアー内、居室内	各担当者	個別に関わる時間を確保する

## 反省とまとめ

CS-QCステップ	良くできたこと	出来なかったこと
(1) テーマの選定	コロナ過において職員全員が利用者の思いを叶えてあげたいという強い気持ちで選定できた。	_____
(2) 現状把握、目標設定	PCRモラルを基盤に様々な方向から現状把握する事ができた。	何名かの職員から消極的な意見が出てくる事があった。
(3) 要因の解析	二度の解析を行ったことで利用者の真の思いを感じ取る事が出来た。	初回の要因の解析が甘く重要な部分に築く事が出来なかった。
(4) 対策立案の実施	コロナ過の制限の中、利用者の安全を確保しながら対策が行えた。	数値では解らなかった利用者の思いを感じ取る事が出来なかった。
(5) 効果の確認	効果を細かく評価、理解する事で満足度を上げる事ができた。	_____
(6) 歯止め	_____	情報の少ないコロナウイルスに対して継続案に不安が残った。
(7) ミーティング	限られた制限の中で有効な対策を考える事ができた。	_____
(8) 活動計画運営	サークルを引っ張っていく職員が育ち協力体制が一段と強くなった。	多職種のサークルだった為、開始時間がバラバラになってしまった。

## 残された課題

感染症による制限の中でも、安全に地域との関わりを持つ

不安が絶えない活動でしたが、

**意識改革や業務改善、**

**発想の転換**により、できないと置いて

いたことを実現することができた。



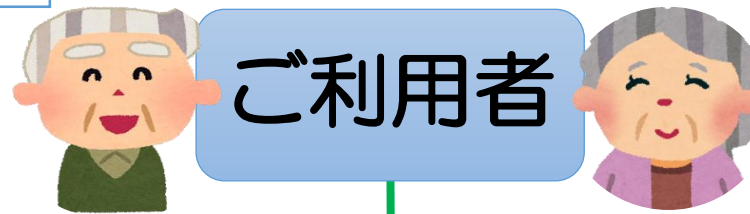


ご利用者の**最高の笑顔**や  
**ご家族から感謝の言葉**を

いただき、**やりがい**や、**やる気**が  
より一層高まり、私たち施設が目指す



今回の活動を通して



ご利用者

3つの満足



ご家族



職員

三つの満足に繋がった。



家に帰れて  
良かったじょ～





ご清聴ありがとうございました